

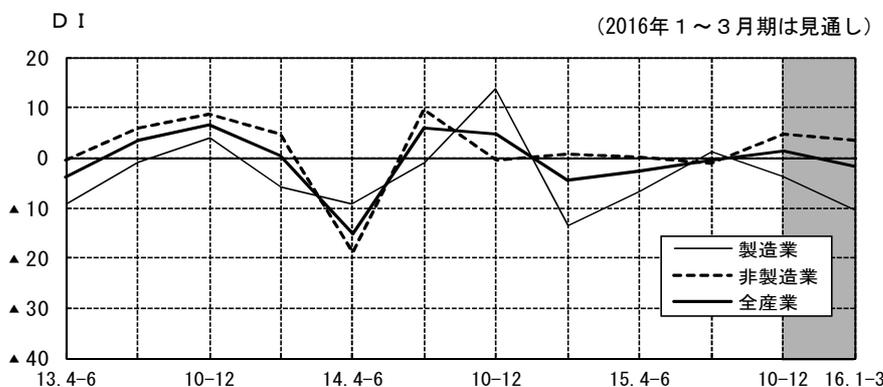
業況概要(自社)

～製造業は低下に転じる、非製造業はプラス水準回復～

静岡県東部地域における2015年10～12月期の業況判断D I (対前期比)は、全産業で1.5 (前期▲0.4) と引き続き緩やかに上昇し、1年ぶりのプラス水準を回復した。うち、製造業ではパルプ・紙・紙加工品でやや改善されたが、金属製品や一般機械器具で低下したため、全体で▲3.8 (前期1.1)と再び低下に転じた。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所で低下したが、卸・小売・サービス業全体や建設業で改善された結果、全体では4.8 (前期▲1.2) とプラス水準となった。

2016年1～3月期の予想D I (今期比)は、全産業で▲1.8とマイナスになっている。業種別でも製造業▲10.6、非製造業3.6と、ともに低下しており、先行きに対する懸念がみられる。

《業況判断指数推移》



全産業D I

| | | D I |
|-----|-------|-------|
| 13年 | 4-6 | ▲3.8 |
| | 7-9 | 3.4 |
| | 10-12 | 6.7 |
| 14年 | 1-3 | 0.4 |
| | 4-6 | ▲15.2 |
| | 7-9 | 5.9 |
| 15年 | 10-12 | 4.7 |
| | 1-3 | ▲4.4 |
| | 4-6 | ▲2.6 |
| 16年 | 7-9 | ▲0.4 |
| | 10-12 | 1.5 |
| | 1-3 | ▲1.8 |

D I : ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。

「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

《業種別天気図》

業況上昇 ← → 業況下降

| | 製造業 | 食料品 | パルプ・紙・紙加工品 | 一般機械器具 | 非製造業 | 卸・小売・サービス業 | 旅館・その他宿泊所 | 建設業 |
|---------------|-----|-----|------------|--------|------|------------|-----------|-----|
| 2015年 7～9月期 | ☁ | ☀/☁ | ☁/☔ | ☀/☁ | ☁ | ☁ | ☀/☁ | ☁ |
| 2015年 10～12月期 | ☁ | ☀/☁ | ☁/☔ | ☀/☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☀/☁ |
| 2016年 1～3月期 | ☁/☔ | ☁/☔ | ☁/☔ | ☁ | ☁ | ☁ | ☀/☁ | ☁ |

※2015年7～9月期と10～12月期は前期比、2016年1～3月期は今期比見通し

《調査の概要》

- 調査目的
静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 499社
回答数271 (回答率54.3%)
※業種別企業数は4ページ図表を参照
- 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間
実績:2015年10～12月期
見通し:2016年1～3月期
- 調査時点
2015年11～12月

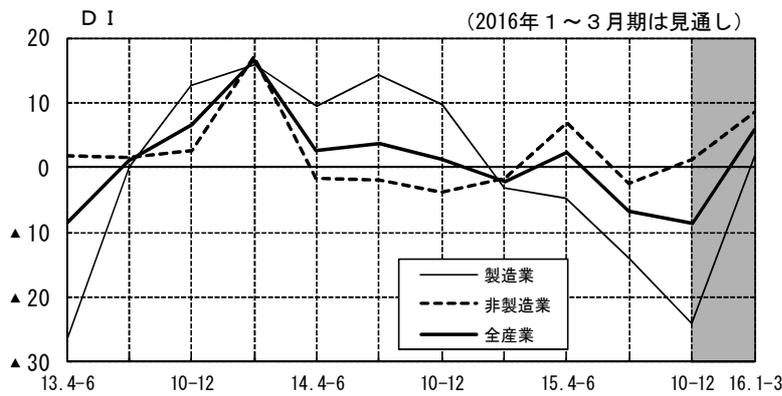
売上動向

製造業は5期連続でD I 低下、非製造業はプラス水準を回復

2015年10～12月期の全産業の売上動向D I (対前年同期比)は▲8.5 (前期▲6.7)と2期連続で低下した。製造業では、食料品(▲18.8)は上昇したが、一般機械器具(▲14.3)が大幅に低下、パルプ・紙・紙加工品(▲23.5)、金属製品(▲43.8)も低下したため、全体で▲24.0(前期▲14.1)と5期連続の低下となり、D Iは2013年4～6月期以来の低い水準となった。一方、非製造業では建設業(▲16.7)は低下したが、旅館・その他宿泊所(36.4)を含む卸・小売・サービス業(8.5)は改善し、全体では1.2(前期▲2.5)とプラス水準を回復した。この結果、製造業とのかい離がさらに拡大した。

2016年1～3月期の予想D I (今期比)は、全産業で5.9と上昇が見込まれている。非製造業では8.4とさらなる上昇が期待され、製造業でも1.9と回復が予想されている。

《売上動向の推移》



| | 前期 | 今期 |
|--------------|-------|-------|
| 食料品 | ▲33.3 | ▲18.8 |
| パルプ・紙・紙加工品 | ▲15.4 | ▲23.5 |
| 金属製品 | ▲33.3 | ▲43.8 |
| 一般機械器具 | 35.0 | ▲14.3 |
| その他製造業 | ▲27.6 | ▲23.5 |
| 製造業計 | ▲14.1 | ▲24.0 |
| 旅館・その他宿泊所 | 15.0 | 36.4 |
| その他小売・サービス業等 | ▲7.4 | 2.1 |
| 卸・小売・サービス業計 | ▲3.5 | 8.5 |
| 建設業 | 0.0 | ▲16.7 |
| 非製造業計 | ▲2.5 | 1.2 |

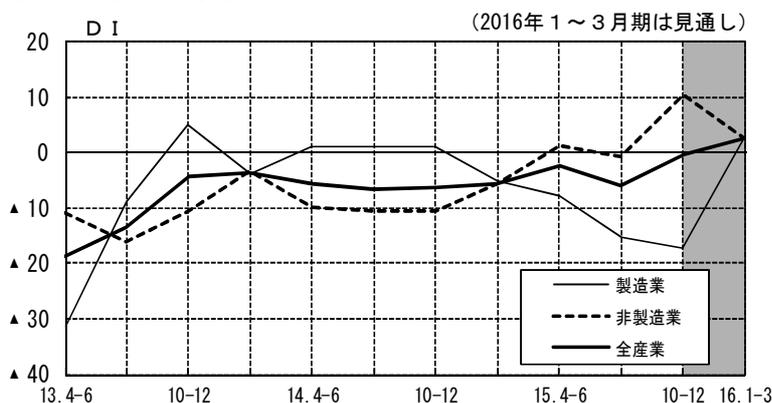
利益動向

製造業はD I の低下続く、非製造業は上昇に転じる

2015年10～12月期の全産業の利益動向D I (対前年同期比)は▲0.4 (前期▲5.9)と再び上昇に転じた。製造業では、食料品(▲6.3)でD Iが大幅に改善されたが、一般機械器具(0.0)や金属製品(▲31.3)、その他製造業(▲29.4)の低下が影響し、全体では▲17.3(前期▲15.2)と小幅ながら低下が続いている。また、一般機械器具を除く各業種でD Iがマイナス水準になっている。一方、非製造業ではその他小売・サービス業等(9.4)、旅館・その他宿泊所(36.4)、建設業(0.0)などいずれも前期比上昇したことから、全体でも10.2(前期▲0.6)と上昇に転じており、売上動向D I同様、製造業とのかい離が目立つ。

2016年1～3月期の予想D I (今期比)は、全産業で2.6、業種別でも製造業で2.9、非製造業で2.4といずれも改善への期待感がみられる。

《利益動向の推移》



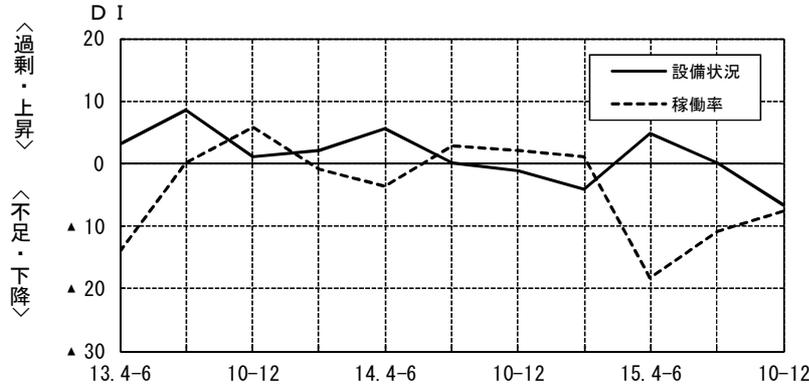
| | 前期 | 今期 |
|--------------|-------|-------|
| 食料品 | ▲40.0 | ▲6.3 |
| パルプ・紙・紙加工品 | ▲15.4 | ▲11.8 |
| 金属製品 | ▲26.7 | ▲31.3 |
| 一般機械器具 | 25.0 | 0.0 |
| その他製造業 | ▲24.1 | ▲29.4 |
| 製造業計 | ▲15.2 | ▲17.3 |
| 旅館・その他宿泊所 | 25.0 | 36.4 |
| その他小売・サービス業等 | ▲4.3 | 9.4 |
| 卸・小売・サービス業計 | 0.9 | 14.4 |
| 建設業計 | ▲4.2 | 0.0 |
| 非製造業計 | ▲0.6 | 10.2 |

設備状況・稼働率
(製造業)

設備状況は「不足」に転じる、稼働率D Iは「下降」水準続く

2015年10～12月期の設備状況D Iは▲6.7(前期0.0)と2期連続で低下し「不足」の判断に転じた。業種別では、食料品、パルプ・紙・紙加工品、一般機械器具でD Iが低下している。一方、稼働率D Iは▲7.7(前期▲10.9)と2期連続で改善したが、「下降」の水準が続いている。金属製品と一般機械器具ではD Iが低下したが、食料品とパルプ・紙・紙加工品でD Iが大幅に改善されている。

《設備状況・稼働率の推移》



| 設備状況 | 前期 | 今期 |
|------------|-------|-------|
| 食料品 | 13.3 | ▲18.8 |
| パルプ・紙・紙加工品 | 0.0 | ▲17.6 |
| 金属製品 | 6.7 | 6.3 |
| 一般機械器具 | ▲15.0 | ▲19.0 |
| その他製造業 | 0.0 | 5.9 |
| 製造業計 | 0.0 | ▲6.7 |

| 稼働率(対常態) | 前期 | 今期 |
|------------|-------|-------|
| 食料品 | ▲53.3 | ▲12.5 |
| パルプ・紙・紙加工品 | ▲30.8 | ▲5.9 |
| 金属製品 | ▲6.7 | ▲12.5 |
| 一般機械器具 | 15.0 | 4.8 |
| その他製造業 | 0.0 | ▲11.8 |
| 製造業計 | ▲10.9 | ▲7.7 |

在庫状況
(製造業)

D Iは前期に続き低下、パルプ・紙・紙加工品などで在庫過剰感緩和

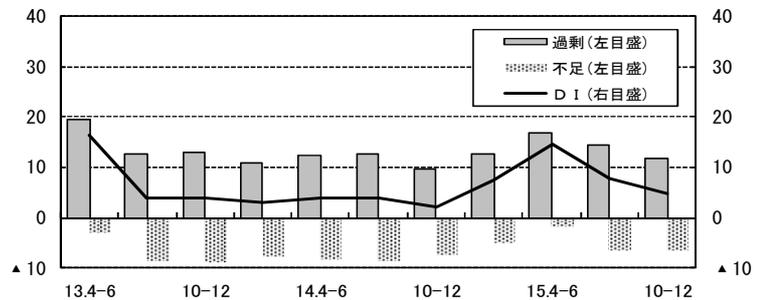
2015年10～12月期の在庫状況(製造業)D Iは4.9(前期7.7)と前期に続き低下した。業種別では、金属製品で20.0(同▲7.1)、一般機械器具で9.5(同5.0)と上昇し在庫「過剰」の状態になっているが、パルプ・紙・紙加工品は0.0(同23.1)、その他製造業0.0(同13.8)といずれも過剰感が大幅に緩和されて「適正」の水準に達し、全体のD Iを押し下げている。

《在庫状況》

| | (前期) 2015年 7～9月期 | (今期) 2015年 10～12月期 |
|-----|------------------------|--------------------------|
| 過剰 | 14.3% | 11.7% |
| 適正 | 79.1% | 81.6% |
| 不足 | 6.6% | 6.8% |
| D I | 7.7 | 4.9 |

(%)は回答企業の比率)

《在庫状況の推移》



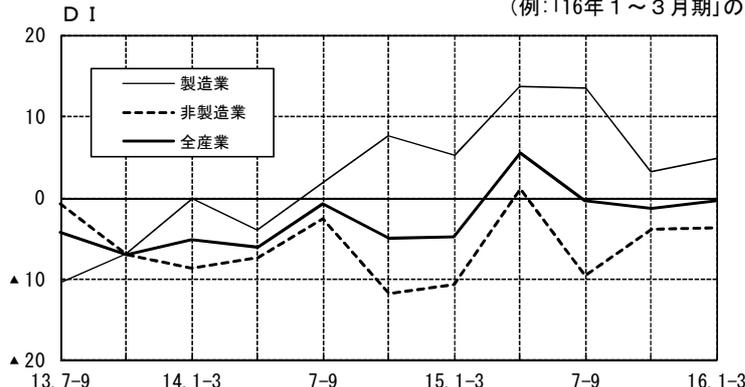
設備資金借入
動向(来期)

製造業で上昇に転じる、非製造業は前期比横ばい

2016年1～3月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)D Iは、▲0.4(前期▲1.2)とわずかに上昇した。業種別では、製造業は4.9(同3.3)と上昇に転じ、借入増加の基調を維持した。一方、非製造業では▲3.7(同▲3.8)と横ばいで推移している。

《設備資金借入動向推移(見通し)》

※すべて「来期の見通し」について調査
(例:「16年1～3月期」の見通しは、15年10～12月期時点の調査結果による)



| | 前期 | 今期 |
|--------------|-------|-------|
| 食料品 | ▲6.7 | ▲6.3 |
| パルプ・紙・紙加工品 | 23.1 | 0.0 |
| 金属製品 | 0.0 | ▲6.7 |
| 一般機械器具 | 20.0 | 14.3 |
| その他製造業 | ▲10.3 | 11.8 |
| 製造業計 | 3.3 | 4.9 |
| 旅館・その他宿泊所 | ▲5.3 | 13.6 |
| その他小売・サービス業等 | ▲4.4 | ▲4.2 |
| 卸・小売・サービス業計 | ▲4.6 | ▲0.8 |
| 建設業計 | ▲2.1 | ▲10.9 |
| 非製造業計 | ▲3.8 | ▲3.7 |

経営上の問題点

従業員関連の項目が上位に、「求人難」は建設業で回答比率高い

「人材の育成」「従業員の高齢化」「人件費の増加」の回答比率がいずれも前期比で上昇しており、「求人難」を含め従業員関連の項目が上位となっている。うち、「求人難」は非製造業、特に建設業での回答比率が高い。その他では「受注・売上の停滞・減少」「過当競争・製品安」の回答比率は前期比若干低下、「原材料・仕入商品の値上がり」は低下の傾向が続いている。

《経営上の問題点（上位8項目）》

(社、%)

| | 15年4～6月期 | | 15年7～9月期 | | 15年10～12月期 | | 順位 変動 |
|------------------|----------|------|----------|------|------------|------|----------|
| | 企業 | 比率 | 企業 | 比率 | 企業 | 比率 | |
| 1. 受注・売上の停滞・減少 | 132 | 49.6 | 134 | 52.8 | 138 | 50.9 | → |
| 2. 人材の育成 | 97 | 36.5 | 79 | 31.1 | 102 | 37.6 | ↑ |
| 3. 従業員の高齢化 | 71 | 26.7 | 84 | 33.1 | 98 | 36.2 | ↓ |
| 4. 過当競争・製品安 | 82 | 30.8 | 77 | 30.3 | 80 | 29.5 | → |
| 5. 原材料・仕入商品の値上がり | 82 | 30.8 | 69 | 27.2 | 65 | 24.0 | → |
| 6. 求人難 | 54 | 20.3 | 65 | 25.6 | 64 | 23.6 | → |
| 7. 人件費の増加 | 61 | 22.9 | 47 | 18.5 | 62 | 22.9 | ↑ |
| 8. 生産・販売能力の不足 | 54 | 20.3 | 49 | 19.3 | 56 | 20.7 | ↓ |

《業種別：回答企業数およびD I》

※設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

| 業種 | 企業数 | 売上動向 | 利益動向 | 設備状況 | 稼働率 | 在庫状況 | 設備資金 |
|--------------|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 食料品 | 16 | ▲18.8 | ▲6.3 | ▲18.8 | ▲12.5 | 0.0 | ▲6.3 |
| パルプ・紙・紙加工品 | 17 | ▲23.5 | ▲11.8 | ▲17.6 | ▲5.9 | 0.0 | 0.0 |
| 金属製品 | 16 | ▲43.8 | ▲31.3 | 6.3 | ▲12.5 | 20.0 | ▲6.7 |
| 一般機械器具 | 21 | ▲14.3 | 0.0 | ▲19.0 | 4.8 | 9.5 | 14.3 |
| その他製造業 | 34 | ▲23.5 | ▲29.4 | 5.9 | ▲11.8 | 0.0 | 11.8 |
| 製造業計 | 104 | ▲24.0 | ▲17.3 | ▲6.7 | ▲7.7 | 4.9 | 4.9 |
| 旅館・その他宿泊所 | 22 | 36.4 | 36.4 | - | - | - | 13.6 |
| その他小売・サービス業等 | 97 | 2.1 | 9.4 | - | - | - | ▲4.2 |
| 卸・小売・サービス業計 | 119 | 8.5 | 14.4 | - | - | - | ▲0.8 |
| 建設業計 | 48 | ▲16.7 | 0.0 | - | - | - | ▲10.9 |
| 非製造業計 | 167 | 1.2 | 10.2 | - | - | - | ▲3.7 |

特別調査：2016年の業況の見通し等

2016年通年の国内景気、自社の業況見通し等（いずれも2015年比）について質問した。国内景気は「変わらない」62.4%に対し「上昇」「下降」がともに16.6%で、今年比では横ばいとする見方が大勢である。なお、1年前の同様の調査では「変わらない」52.1%、「下降」33.1%であり、今回の調査では「下降」とする見方は弱まっている。

一方、自社の業況見通しは、全産業で「上昇」(19.6%)が「下降」(18.8%)をわずかに上回ったが、全体としては国内景気と同様に、今年比横ばいの見通しである。また、1年前調査との比較でも「上昇」が増加、「下降」が減少している。業種別では、製造業で「上昇」「下降」がともに21.2%、非製造業は「上昇」18.6%に対し「下降」17.4%となった。製造業、非製造業ともに「上昇」と「下降」の比率の差は小さく、今年比では横ばいの見通しとなっている。

なお、自社の売上高や利益の見通しについても、全産業ベースで「増加」と「減少」の回答は同程度で、業況同様に今年比横ばいとの見方が示されている。

◇国内景気動向見通し(全産業)

| | 上昇 | 変わらない | 下降 | 無回答 |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 今回調査 | 16.6% | 62.4% | 16.6% | 4.4% |
| 1年前調査 | 12.5% | 52.1% | 33.1% | 2.3% |

●「自社の業況見通し」業種別回答

| | 上昇 | 変わらない | 下降 | 無回答 |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 製造業 | 21.2% | 52.9% | 21.2% | 4.8% |
| 非製造業 | 18.6% | 60.5% | 17.4% | 3.6% |
| 全産業 | 19.6% | 57.6% | 18.8% | 4.1% |
| 1年前調査 | 16.7% | 58.4% | 22.6% | 2.3% |

●「自社の売上高見通し」業種別回答

| | 増加 | 変わらない | 減少 | 無回答 |
|------|-------|-------|-------|------|
| 製造業 | 27.9% | 42.3% | 25.0% | 4.8% |
| 非製造業 | 22.2% | 50.9% | 23.4% | 3.6% |
| 全産業 | 24.4% | 47.6% | 24.0% | 4.1% |

●「自社の利益見通し」業種別回答

| | 増加 | 変わらない | 減少 | 無回答 |
|------|-------|-------|-------|------|
| 製造業 | 25.0% | 48.1% | 22.1% | 4.8% |
| 非製造業 | 20.4% | 52.7% | 23.4% | 3.6% |
| 全産業 | 22.1% | 50.9% | 22.9% | 4.1% |